

平成 21 年（2009 年）10 月 28 日

長野県知事 村井 仁 様

長野県がん診療連携拠点病院整備検討委員会  
会長 小池 健 一

長野県がん診療連携拠点病院の機能評価（現地調査）の結果について（報告）

平成 21 年 7 月 9 日（木）に実施した機能評価（現地調査）の結果について、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1 調査対象施設

- (1) 長野赤十字病院（長野市若里 5-22-1）
- (2) 長野市民病院（長野市富竹 1333-1）

#### 2 評価基準

がん診療連携拠点病院の整備に関する指針（平成 20 年 3 月 1 日付け健発第 0301001 号）など

#### 3 調査結果

別紙のとおり

(別紙1)

## 機能評価結果

### (1) 長野赤十字病院

長野赤十字病院は、平成19年1月31日に厚生労働省から「地域がん診療連携拠点病院」(以下、「拠点病院」という。)として指定を受け、長野・北信医療圏の拠点病院として、地域におけるがん診療の中心的な役割を担っている。

現地調査の結果、拠点病院としての機能に大きな問題はなく、今後さらに機能の充実を期待するものであるが、さらに質の高いがん医療の提供体制を確立するために、次の点について要望する。

#### ① 緩和ケア認定看護師の資格取得について

患者に対する疼痛等の緩和、療養の場に応じた患者・家族のQOLの向上及び患者・家族のグリーフケアを図るためには、緩和ケア認定看護師の役割は重要である。

現時点で、緩和ケア認定看護師が不在であることから、今後、緩和ケア認定看護師の資格取得について努められたい。

#### ② 相談支援センターの機能の充実について

がん診療連携拠点病院の認定要件とされている相談支援センターの機能は有しているものの、がん患者団体との連携協力体制の構築について、さらに充実させる必要がある。院内外のがん患者及びその家族に対しては、その目線に立って相談に応じることで、患者の不安を少しでも解消することができる。

今後、がん患者団体との連携協力体制をさらに深め、相談支援センターの機能を充実するよう努められたい。

#### ③ 地域連携クリティカルパスについて

地域において、医療の質を向上させていくためには、地域連携クリティカルパスを整備し、病連携や病診連携を構築していくことが重要である。貴院においては、既に地域連携クリティカルパスの整備に取り組まれているところであるが、今後、地域の医療機関との連携を強化し、さらなる充実を図られたい。

(別紙2)

## 機能評価結果

### (2) 長野市民病院

長野市民病院は、平成19年1月31日に厚生労働省から「地域がん診療連携拠点病院」(以下、「拠点病院」という。)として指定を受け、長野・北信医療圏の拠点病院として、地域におけるがん診療の中心的な役割を担っている。

現地調査の結果、拠点病院としての機能に大きな問題はなく、今後さらに機能の充実を期待するものであるが、さらに質の高いがん医療の提供体制を確立するために、次の点について要望する。

#### ① 腫瘍内科医の育成について

血液内科疾患及び固形がん等における化学療法時の高度の血球減少時などにおいては、リアルタイムな対応が求められることが多く、常勤医がいない場合にはその対処が難しい場合があり得る。血液内科疾患医療及び安全な化学療法を提供するため腫瘍内科医の育成に努められたい。また、全国的な医師不足を背景に、血液内科医を確保することが困難な状況ではあるが、血液内科医の確保にも努められたい。

#### ② キャンサーボードについて

キャンサーボードの定義については、議論のあるところであるが、がんに関わる複数の診療科の複数の職種に携わる医師等が集まる形で、がん患者の症状、状態及び診療方針の検討を行っていく、いわゆる一般的なキャンサーボードの実施を図られたい。

#### ③ 地域連携クリティカルパスについて

地域において、医療の質を向上させていくためには、地域連携クリティカルパスを整備し、病病連携や病診連携を構築していくことが重要である。貴院においては、既に地域連携クリティカルパスの整備に取り組まれているところであるが、今後、地域の医療機関との連携を強化し、さらなる充実を図られたい。